

分科会 15

みんなで考える！これからのデイケア

～リカバリーのために精神科デイケアができること～

コーディネーター： 種田綾乃（神奈川県立保健福祉大学）
報告者： 時田陽介（森メンタルクリニック）
柳春海（華蔵寺クリニック）
櫻田みち子（ひだクリニック家族会）

1. はじめに・話題提供

企画者より、本分科会の趣旨として、「精神科デイケア」に焦点をあて、様々な立場の方々の思いやアイデアを持ち寄り、「リカバリーのために精神科デイケアができること」について考えていくことを目的とすることを共有しました。

また、話題提供として、精神科デイケアの概要やデイケアでの利用者調査での声などを紹介しました。

2. 実践・経験の報告

1) デイケアで働くスタッフの立場から（時田陽介氏）

森メンタルクリニックのデイケアの概要や利用状況などについてご紹介いただき、デイケアスタッフとしての実践経験をふまえ、リカバリーのためにデイケアが目指したいことや大切にしたい視点、デイケアのプログラムの可能性等についてご報告いただきました。

2) デイケアで働くピアスタッフの立場から（柳春海氏）

華蔵寺クリニックのデイケアの概要やプログラムの実際、デイケアでのピアサポートの実際などについてご紹介いただき、ピアスタッフの立場としてのこれまでのご経験や、デイケアでの実践の中で大切にしてきた視点や思いなどについてご報告いただきました。

3) 利用者のご家族の立場から（櫻田みち子氏）

ひだクリニックの利用者さんのご家族の立場として、デイケアにつながるまでのお話や、デイケアでの様々なプログラムや仲間等につながることで、ご家族をも含めた様々な変化や可能性の拡がり、デイケアへの思い・期待することなどについてお話しいただきました。

3. グループワーク・全体共有

本分科会のテーマでもある、「リカバリーのために精神科デイケアができること」をテーマとし、報告者を交えた小グループでのグループワークを行いました。

ワーク①として、「魅力的なデイケアのイメージや要素」について、付箋を用いて、グループごとに思いや考えを出し合いました。

また、ワーク②として、「あなたが関わっているデイケアがもっと魅力的なデイケアになるためにできること・アイデア」について、具体的なアイデア探しを行いました。あわせて、試みようとする上での課題・障壁等についても話し合いました。

小グループでの話し合い後に、全体共有の時間を設け、各グループより、話し合いの中で出てきたアイデア等をご報告いただきました。

そして、最後に、各グループの意見やアイデアとして出された付箋は大きな台紙にまとめ、視覚的にも共有を行いました。大きな台紙にあふれるほどの参加者の方々の思いやアイデアが挙げられ、様々な立場の方々とともに、「デイケアとしてできることの可能性」を見つめる時間となりました。

質疑応答でのご意見では、ご自身の関わっておられるデイケアの中ではリカバリー志向の意識自体がなかなか共有されづらい現実なども挙げられました。お互いが立場をこえて、「魅力的なデイケア」を自由に語り合う時間そのものが、「リカバリーのためにデイケアができること」のための一歩でもあることも感じる時間でした。

本分科会にご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。また、報告者の皆様や、本分科会に当たりサポートいただきました皆様にも深く感謝いたします。